

広島市植物公園 見どころ案内

2016年6月4日
通巻第284号

ウンカリナ グランディ ディエリ (ゴマ科)

春に柔らかい葉を出し、直径5cm程の鮮やかな黄色花を着ける落葉中低木。現地の人が葉を水に浸した液をシャンプーとして利用するので、「シャンプーの木」と呼ばれます。

バラ園 (バラ科)

一番花が終わったものもありますが、中輪房咲きやハマナシ、ツクシイバラなどの野生種はまだまだ見頃。

大温室改修のため休館中

リニューアルオープンは平成29年秋ごろです。(予定)

ゾウコンニャク (サトイモ科)

5月に強烈な臭いの珍奇な花を咲かせましたが、現在は腕程の太さがある茎を立ち上げ、大温室にあった鉢物に取り囲まれているにも関わらず、その巨体をご覧ください。

球根ベゴニア作出に貢献した野生種 (シュウカイドウ科)

キンナバリナやベイチー、ポリヴィエンスなど球根ベゴニアの作出に貢献した野生種が花盛りです。

ヤマアジサイ

(アジサイ(旧ユキノシタ)科)
ししおど 鹿威しの響く日本庭園奥の最深部“ヤマアジサイの里”では、あふれんばかりのヤマアジサイが谷を埋め尽くして咲いております。ぜひ奥までご覧ください。

ハナショウブ&アジサイまつり 6/4(土)~26(日)の土日

今年は茶室前に新設した水琴窟と苔庭が目玉です！花盛りのハナショウブとヤマアジサイに気を取られて、お見落としのないよう、視覚のみならず聴覚も使って、五感をフル活用してお楽しみください！！

ザクロ (ザクロ科)

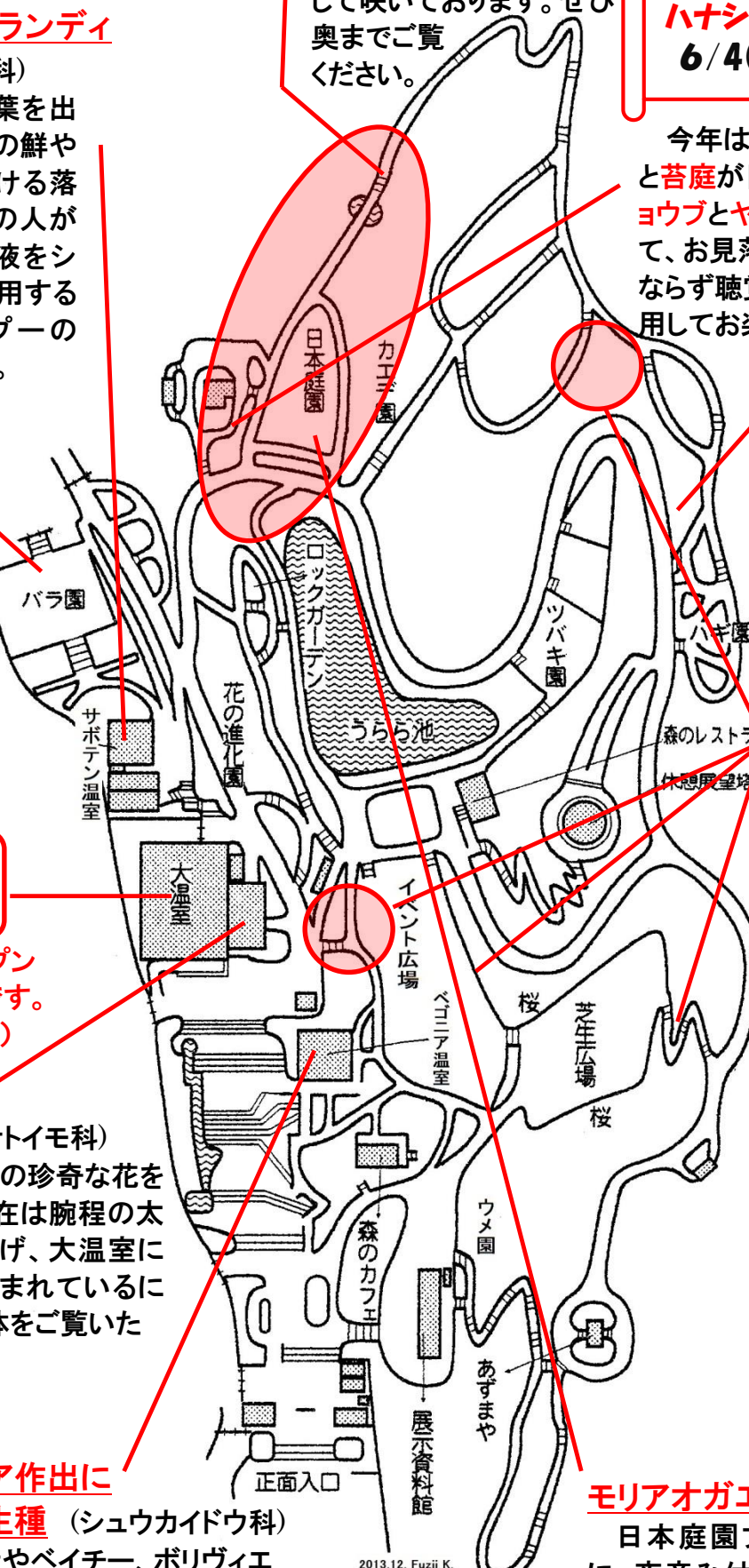
こちらは実を観賞・収穫するのではなく、花を楽しむ“花ザクロ”の一品種で、ピンク色八重咲花。

ヤマボウシ (ミズキ科)

白く花弁に見えるのは、苞葉で先がとがります。仲間のハナミズキがへこむのと対照的です。園内各所でご覧いただけます。屋外展示場前には常緑ヤマボウシのホンコンエンススを植栽しており、こちらはヤマボウシより脹やかな苞！？木の実の森ではヤマボウシに混ざってヒマラヤマボウシも咲いております。本種にはラベルを着けておりますので、花冠に花が咲き観察し難いですが、足元に気を付けてご覧ください。

モリアオガエルの卵塊

日本庭園フジ棚近くのカエデの枝に、夜産み付けられた泡に包まれた卵塊を観察することができます。雨上がりの翌朝が狙い頃です！



2013.12. Fuzii K.